

令和7年度 学校評価報告

草加市立瀬崎中学校

(令和8年2月5日作成)

1 学校教育目標	
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成『よりよく生きる』 「ま」…学び続ける生徒 「つ」…強い体をもつ生徒 「な」…仲間を思いやる優しい心をもつ生徒 「み」…みんな仲良く笑顔あふれる生徒 「き」…希望をもち夢に向かって努力する生徒	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
1 創立50周年記念事業でさらなる躍進 2 学力向上研究発表 瀬崎スタイルの確立 3 一人ひとりを大切にしたい教育の推進 4 特別支援教育の充実	成果 ○幼保小中一貫教育を推進するにあたり、草加市教育研究委嘱を受け、中学校区での研究を推進することができた。 課題 ●「わかる・伸びる授業」実践に向けた基礎学力の定着を図る。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	A	○職員の学校評価では、A評価とB評価合わせて100%であり、経営方針を意識した教育活動を実施できた。 ●分掌に偏りがあり、業務量の均衡化が必要。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	A	○市教委委嘱の研究発表を小中合同ですすめることができた。 ○瀬崎スタイルを確立し、学力向上につなげることができた。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	○担当を中心に計画的に進めることができた。 ○危機管理マニュアルを見直して、現状にあったものとした。 ○定期的な安全点検、避難訓練等を実施した。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	B	○危機管理マニュアルをもとに、個人情報持ち出し簿等を活用して適切な管理を行った。 ○校内定期点検を毎月実施するとともに、盗撮防止に向けた校内点検を全職員で実施した。 ○修繕が必要な所については、随時修繕を進めた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	A	○地域やPTAの協力を得ながら、50周年の記念行事を開催した。保護者による学校評価では、「地域に伝えている」96.9%、「地域とのかかわりを大切にしたい活動が行われている」99.3%であった。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	A	○研究発表にあたり、目指す子ども像の共有や組織づくりなど協力体制を整え、実践することができた。 ○運動会や記念行事など、幼保小中地域が一体となって行事を作りあげた。

草加市立瀬崎中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	○教員の学校評価では「全教育活動に反映」「意識した教育活動」の項目で肯定的評価が100%であり、教育目標を意識した教育活動を実施することができた。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	○「聞いて、考え、伝え合う」をキーワードに研究を進めることで、主体的・対話的で深い学びにつなげることができた。 ○少人数指導により、個に応じた細やかな指導により基礎的な学力の向上が見られた。 ●外部人材を活用することを計画に取り入れ、さらに深い学びへつなげていく。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	○担当を中心に計画を作成し、ローテーション道徳をすすめることができた。 ○いのちの教育について3ヶ年計画で推進した。 ●教材の共有化のさらなる推進が必要である。
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 生徒会活動 	B	○話し合い活動や意欲的に活動する場面を設定し生徒が活躍する場を設けることができた。 ●生徒が主体となって活動する場面をさらに増やし、自己肯定感の高揚につなげる必要がある。
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	A	○各学年担当を中心に企画・運営し、各学年の成長段階に即した内容で実践することができた。 ●外部人材を活用することを計画に取り入れ、さらに深い学びへつなげていく。
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、生徒理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	○生徒指導部を中心に、個に応じた指導を組織的に行うことができた。また、家庭との連携を大切にして実践することができた。 ●学年間で指導の温度差が一部見られるので、学校として統一した指導を徹底していく。
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 組織的なキャリア教育 指導方法の工夫と改善 啓発的経験の充実 進路情報の収集・活用 職場体験活動 	A	○各学年の発達段階に応じ、3年間を見通した進路指導を実践することができた。 ○教員間で進路情報の共有を行い、生徒一人ひとりの個に応じた進路指導を行うことができた。
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	○特別支援教育コーディネーターを中心に個に応じた支援を実施し、計画通りに進めることができた。 ○各行事で、積極的に交流学級に入り活動することができた。
	⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	○図書室床の張替え工事を行い、全体的に明るく、利用しやすい環境となった。 ○表彰や図書委員手作りのしおりのプレゼントなど利用を促す企画を行った。
	⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	○ICT機器を積極的に活用し、常に授業改善に取り組むことができた。 ○学級閉鎖時や個に応じた対応としてタブレット端末を活用したオンライン授業を実施した。 ●タブレット端末を活用した個に応じた利用を促進する必要がある。
	⑪人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	○「動画視聴」や「被差別部落やに関する資料」等を通して人権に対する意識の高揚を図った。 ●身近な問題としての人権意識や情報モラルにおける人権感覚の醸成が必要である。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	創立50周年記念式典	・地域との協働 ・地域と子供のつながり・連携	A	○地域の協力のもと創立50周年記念式典を盛大に開催することができた。特に5町会合同の地域祭り・記念式典では生徒の活躍の場を多く設けるとともに、地域と一体となって取り組むことができた。
	学力向上研究発表	・「聞いて・考え・伝え合う」学習活動の推進	A	○中学校区で共通した「瀬崎スタイル」の授業展開を確立し、「聞いて・考え・伝え合う」を共通指導事項として研究を深め、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくりを推進することができた。 ○5教科に特化した朝活コンテスト(朝学習の成果確認テスト)を実施し、基礎・基本の定着を図ることができた。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○「よりよく生きる」学校教育目標の達成にむけて、自らの生き方を考え、実践する生徒の育成を目指し、幼保小中の目指す生徒像を目標に、瀬崎スタイルの確立と中学校区で共通した学習活動を通して教職員で工夫を凝らし、全体的に学校経営・運営を円滑にすすめることができた。

○生徒全員が何事にも挑戦して、一生懸命取り組んでいる。

○教職員の素晴らしさは常々感じる。

○周年行事、学校だより等で、子供たちの活躍・充実した学校生活を送っているのを見てうれしく思う。校長先生をはじめとする教職員が手本となっているところが素晴らしい。

○学校と地域が一体となっておりとてもすばらしい。生徒の楽しそうな姿をみることができ本当にありがたい。

○学校ホームページに学校の活動や部活動の内容、給食のメニュー等の画像を通して学校生活の様子が伺えるようになっており、今後の情報発信に期待したい。

6 次年度の改善策

○中学校区で確立した「瀬崎スタイル」を継続し、授業改善・学習体系の共通化を通じて基礎・基本を定着させ学力を向上させる。

○学校運営協議会を中心に、各町会等地域との連携をこれまで以上に深め、協力体制を確立し知己で支える学校教育の実現に努める。

○複雑な校務分掌をスリム化し、役割を明確化したうえで円滑な教育活動がなされるようにする。

○行事の持ち方、内容の検討・精選をはかることで、時間的な余裕を生み出し、教職員の。